



尾形的

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

第二十一章

本当のところ

まるで「西遊記」のワンシーンにでも出てきそうな風景に目を奪われた。静寂の中に漂う独特な雰囲気、に圧倒される。山形県、立石寺(りっしやくじ)。通称「山寺」と呼ばれ、「閑さや岩にしみ入る 蝉の声」と松尾芭蕉が詠んだ句でも有名なお寺。

「山寺」と聞き、夫はふっと子供の頃耳にしたわらべ唄を思い出した。「山寺の和尚さんが…」で始まる、あの唄である。ここがああ「山寺」じゃなかったっけ? しかし、真相は違った。こちらの唄の方は江戸時代の頃、江戸を中心に唄われており、このお寺とは全く関係がないそうである。

さて、登山口山門へと向かう夫の目の前に現れたのは、先の見えない長い階段。夫は知らなかったのだ。「山寺筋肉痛めぐり」などとささやかれていることを。その数、全1,050段ほどであると聞く。その辺の前情報はなく、なんとなく面白そうだからと立ち寄った夫だったが…。

「いや～参ったよ、すげ～階段でさあ、でも苦労して登った甲斐があって、ご褒美としては最高の景色だったよ」と、言っていた。が、その口ぶりがどうも嘘くさい。

普段の夫は、徒歩5分の銀行やコンビニですら車を使う。運動不足を解消しようと、通販でフィットネスマシーンを購入するも、使いこなさぬうちに、新しく楽な物へと乗り換える。基本的に無駄な労力を使うより、「楽ちん」をお金で買うタイプなのだ。そんな夫が地道に階段を上り、上まで行ったなんて到底信じられるわけもない。

夫のカメラに収められた写真はこの一枚だった。本当のところ…どうなのだろう。こちらの真相は定かではない。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>



PHOTO TECHNICAL DIGITAL 2008 NOV.